

## 健康な世界宣教のかぎ（国外宣教委員会学び資料）

—ルカ福音書に記された、主の祈り前後の文脈から教えられること—

日本同盟基督教団・国外宣教委員 野町真理（杉戸キリスト教会牧師）

★良きサマリヤ人のたとえ—いつくしみ深い神の献身（動機としてのスプラクニゾマイ）

→あなたも行って同じようにしなさい！

以下に、順を追って、そのための具体的ステップが教えられている。

★マルタとマリアのエピソード

→どうしても必要なことは、唯一つだけです。それは願う祈りではなく、聞く祈りです。

→いのちの水を受け続けずに、与え続ければ、

疲れ、イライラし、人を裁き、枯渇する（燃え尽きる）以外にない。モデルとしてのガリラヤ湖。

★祈っておられた主イエスに弟子たちが聞く祈りをする。—主イエスの姿に憧れを覚えて

★主の祈り—聞く祈りによってだけ知ることの出来る祈りの的

—世界を包む祈り、福音の要約、義人の祈り

—啓示の光によって的が照らし出された時、初めての的外れとは何かが明らかにされる。

—ハマルテュロス（証人がいない）とハマルティア（罪・的の外れ）が似ている理由

—主の祈りをひっくり返すと？—罪人の的の外れな祈り、悪魔的自己中心な祈りに！

「私の名前があがめられますように。

私の国が来ますように。

私の願いが行われますように。

私は自分の力によって、今日も糧を得よう。

だれでも私に罪を犯す者があるなら、決して赦さずに報復しよう。

私は自分の力によって、自分を悪から救いだそう。

国と力と栄えとは、とこしえに私のものだ。」

—祈りが的の外れになり、空を打つ拳闘に終わらないためには？

まず祈りの方向性と内容が教えられ、次にどう熱心に祈るべきかが教えられる。

高速時代だからこそ、こまめに方向を確認しながらアクセルを踏む必要がある！

★ 真夜中に尋ねて来て、あつかましくパンを求め続ける友人の話—聖霊の満たしを求める主の祈り

→あつかましいほど熱心に、与えられるまで私に聖霊を求めよ！そのように主の祈りを祈れ！

—祈りの原点は無力さと空手にある。世界から期待されているのに応えることのできない無力さと空手。

—あつかましいほど熱心に主の祈りを祈り、聖霊に満たされる時にだけ、無力な者が強い者に変えられる。

—空手に溢れるほどの必要が与えられ、世界宣教を担う良きサマリヤ人とされ、

行って同じようにすることができる。

★ルカ福音書の最後と使徒の働き最初にも明記されている健康な世界宣教のかぎ。

—さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。

あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。ルカ 24 : 49

—エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。使徒 1 : 4-5

—しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。使徒 1 : 8

—健康な世界宣教のかぎは、主の祈りを熱心に祈ることによって、神のいのちの霊である聖霊に満たされることです。聖霊が注がれる時に、死人のような者が生き生きとしてくるのです。（エゼキエル 37 参照）